
誰がための英雄譚

草間 災禍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誰がための英雄譚

【Nコード】

N6305X

【作者名】

草間 災禍

【あらすじ】

Fate/Zeroにおける間桐^{まとう} 雁夜^{かりや}救済ルート？
彼が召喚した英霊は、世界を統一した赤き武人だった。

聖杯は満たされる。英雄達の赤き血で、叶うる望みは唯一つ。誰も
が思いを胸に抱え冬木の地で戦争は始まった。

聖杯胎動（プロローグ）（前書き）

こんにちは。厨二病作家？の間桐です？

見てくれる方には、まずは感謝の意を。

作者は、二次創作やフェイトノワールドガイドとアニメでしかゼロをしりません。

なので、おかしい場所は多々あると思いますので、感想などで指摘くださるとありがたいです。

聖杯胎動（プロローグ）

「閉じよ（満たせ）、閉じよ（満たせ）……」

それは、（反）英雄を呼び出す儀式。

血で描かれた魔方陣。その中心に置かれるは、今呼び出そうとする
英雄縁の品。ゆかり

ここでは、巨大な馬の頭蓋骨が置かれている。

「グッ！？汝三大の言霊を纏う七天……」

英雄、いや英霊をよぶ男には苦痛の表情が貼り付き、詠唱が進むにつれひどくなっていく。

それでも男は止めない。愛する女と、守るべき女の子がいるからだ。

たとえ、髪が白く成ろうと、半身が麻痺しようとして、皮膚の下を虫が蠢こうとも！

詠唱は紡がれた。魔方陣から光が奔流し、この部屋を白に埋め尽くした。

『答える、お前が吾のマスターか？』

光と静寂に満たされた部屋に響いた声。

それは、とっさに頭を垂れてしまいそうになる男（英雄）の低い声

だった。

「それで……だ。この間桐^{まごう} 雁夜^{かりや}がマスターだ」

だが、敬語は必要ない（言いかけたが）。これから共に戦う中で、マスターとして英霊^{サーヴァント}に命令しなくてはならない。

そんな時に自分が下に見られていたら危うい。 令呪は三つしか無いのだから。

「ほおう……吾の言葉^{おせみ}に対してなお抗えるか」

「良からう。お前を吾のマスターに認めようではないか」

フウ、と安堵の息が口から漏れた。

そして、少し心に余裕が出来て気づいた。

おかしい、と。

ここで少し説明を挟むが、英霊の召喚の詠唱は決まっている。そして、呼び出される英霊のクラスは（条件が合っているなら）ランダムだ。

だが、その詠唱に数節加えることにより決められるクラスがある（もちろん、未だ呼び出されていないければだが）。それが、クラスとしての条件が無いバーサーカーと呼ばれる英雄が限定されるアサシンド。

そして、俺は臍硯に言われるがままに、英雄を獣に落とす数節を加

えた筈だ。

力と引き換えに理性を失うバーサーカーには、意味有る言葉は発せられない筈だ。

「お、お前は、バーサーカーではないのか？」

動揺が隠せない。まさかこの儀式は失敗か…

「違うな。吾は此度の聖杯戦争において侵略者のクラスで現界した」
インベイダー

侵略者？そんなクラスは無い筈だ。剣使い（セイバー）、槍使い（ランサー）、弓使い（アーチャー）、騎乗兵、ライダー狂戦士、バーサーカー暗殺者、アサシン魔術師の7つのクラスに英霊は割り振られる筈だ。キ

そう言うと、侵略者は笑って答えた。

「なに、此の身は7つ全てに当てはまるが、最もふさわしいクラスが侵略者であっただけよ」

「いや、バーサーカーだけは違うかもしれぬな。吾は狂うなどといった事象は不可能だからな」

だから私はバーサーカーと呼ばれ無かったのか？、と呟きだした。

聖杯胎動（プロローグ）（後書き）

投稿の仕方がよく分からない。どうしたら（・・・）

まあ、いいか。

サーヴァントはチートです。マスターは残念な子ですが、マジ主人公です。

弱くて、人間臭い主人公です。好きな人を守るためなら悪事もする、守られている者達だけの主人公です。

我が真名は……（前書き）

アブラカタブラっ！

こんにちは。作者です。作者名が厨二すぎて、言えない作者です。

今回は、サーヴァントの真名とステータスを発表。

参考資料はFate/EXTRAのステータス。元からチートだったあのサーヴァントに少しチートを増やした感じですよ。

ちなみに、この二次創作内のこのサーヴァントの経歴は嘘です。信じちゃ駄目よ

あつ、作者は男げす？土佐弁を稀に使用するかもしれないげす？

明かされるは、彼の^か真名。尋常ならざる紅蓮の英雄。その槍の穂先は誰を穿つ。

さあ、英雄は現れた。今綴られるは英雄譚。されど、誰がための英雄譚。

我が真名は……

一人思案しているサーヴァントを見る。

二メートル近い長身。高密度の言葉を表したかのような引き締まった体躯。

厳つい印象があるものの整った顔つき。首まである紅き髪。黄色人種の中では色白な肌。

身に纏う服……鎧は黒と赤を中心にデザインされ、素人目からみても実用的で華美である、それは荘厳な雰囲気醸し出している。

手に持つ紅蓮の槍は、インベイダーの身長を優に越しており、尋常では無い神秘性を撒き散らしている。

そうした考察が終わった時、インベイダーも思案が終わったらしく此方に顔を向けた。

「そう言えばだ、マスター。吾の真名を未だ授けていなかったな。よからうマスター、我が真名を授けよう」

『吾は呂布。世界を統べし中華帝国の霸王なり』

「なっ!?!」

呂布。それは漢の時代が滅び、四国時代に突入したときに他の三國を降し統一したのちに他国に進行して、遂には世界統一を成し遂げた英雄。

その治世は名君たりえて、支配国にも慕われた稀代の王であり、死後には神格化もされた。

代が替わる毎に中華帝国の領地は減ったが、未だ各地で信仰される英雄でもある。

なるほど。臓硯がお前には勿体ない聖遺物、と言った意味がようやく分かった。

多分、あの馬の頭蓋骨は、彼と共に大陸を駆け、一日千里（四一五キロメートル）を走ると謳うたわれた赤兎馬の頭蓋骨だったのだろう。

真名が分かったことにより、サーヴァントのステータスも分かるようになった筈のため診てみる。

真名 呂布（呂奉先）

クラス 侵略者インベイダー

属性 混沌・中庸

サーヴァントステータス

筋力（A+） 耐久（A+） 敏捷（B+） 魔力（B+） 幸運

（B+） 宝具（A++）

クラススキル

単独行動：A+ 陥陣営：B

保有スキル

カリスマ：A + 星の開拓者：EX 無尽の徒：B

宝具

UNKNOWN

「つ、強い。強すぎる」

そう呂布のステータスを見るに、余程の敵が出ない限り順当に聖杯を手に入れるぐらいには。

それに単独行動（A+）は助かる。此の身は刻印虫により無理矢理魔術師に成った身ならば、魔力回路、魔力ともに心許こころもとない。

まして、俺の魔力は生命力を刻印虫に食らわせ生成するから、宝具の開帳以外に魔力を必要としないのは助かる。

此の身は、聖杯をとり桜ちゃんを助ける迄は倒れてはいけないのだから。

そう思案していると、嫌な予感がして顔をあげる。

そこには紅蓮の槍を此方に突き刺す呂布が視界の端に捉えた。「なっ！？…何…で…」

心臓の辺りに無情にも紅蓮の槍は突き刺され、血が滲み、口からは異物が吐かれた。

だが、おかしい。痛く無いのだ。刺された場所も、麻痺していた場所も。いや気持ちが良いくらいだ。

「ふむ。雁夜、これは『無双龍天画戟』といってな、陳宮がつくつた『方天画戟』と、西洋に伝わる伝説の『聖槍』を併せた陳宮作の神槍よっ！」

そう不敵な笑顔を見せる呂布だが、俺が聞きたかったのはそこじゃない。

俺が聞きたいのはそれじゃないんだ……

「どうして刺した？」

此れで分かる筈だ。今俺が聞きたいことは。

それを聞くと、心底呆れたように呂布は口を開いた。

「雁夜、お前ボロボロだっただろう。髪は真っ白に、片目は異形に、半身は麻痺、体内には虫を飼っている」

「嫌だぞ吾は、そんなのがマスターなんて。だから手っ取り早く治しただけよ」

感謝するがいい、とドヤ顔を決める呂布を見て思い言葉にする。

「ありがとう」

一瞬、呂布は驚き直ぐに当然とばかりに頷く。

「当たり前だ。吾と共に歩む者がみすばらしくてはな」

そう言って、侵略者は笑った。

我が真名は……（後書き）

大丈夫かな（・・・）ちゃんと投稿出来てるかな？

消してしまったぁーorz書き直しがダルかった。

サーヴァントの真名は呂布君でした。分かった人はいないよね。描写無かったし。

えーと『無双龍天画戟』？の命名は作者じゃないよ。

ゲームの『三國（国？）無双6 猛将伝』の画戟の最強武器の名前をそのまま拝借しただけです。テヘツ（・・・）

呂布の一人称は『吾』になりました。アドバイスありがとうございます。

後、バーサーカー（らんすろつと）いる？いるかいらないかと性別を答えてね。

作者は女性で狂化なしの偽バーサーカーがいいかな。佐々木さんみたいなの。

誰がための設定集(前書き)

自分のための設定集でした。作者です(・・・)

一話目を二話目に上書きして泣いた作者です。

必死に思い出し投稿しましたが、以前とは少し変わるため見てくださった方には申し訳ないですが、再読をおすすめします。(10月16日時点)

泣きそう(・・・)

プロットなしなんで、更新時期はまちまちですがよろしく願いますm(_____)m

あくまで設定集なんで、本文では変更があるかもしれないし、ネタバレもありますので注意を

誰がための設定集

真名 呂布（呂奉先）

身長：194？ 体重：83？

イメージカラー：紅

特技：乗馬・武芸・賭け事

好きなもの：可愛い動物・癒し系な生物・賭け事

苦手なまの：純粋な人間・搦め手

天敵：アサシン（マスターを狙われると……）

クラス インベイダー
侵略者

属性 中立・中庸

サーヴァントステータス

筋力（A++） 耐久（A+） 敏捷（B++） 魔力（B+）

幸運（B+） 宝具（A++）

クラススキル

単独行動（A+）……宝具の開帳以外の魔力消費を無くす。

陥落陣（B）……相手の拠点を攻撃する時のみ筋力と幸運に補正がかかる。

保有スキル

カリスマ（A+）……呪いに近いほどのカリスマ（魅力）。だが世界を統一した彼に相応しい。

星の開拓者（EX）……人類史におけるターニングポイントになった英雄に与えられるスキル。それは『不可能』を『不可能』なまま『可能』にする。

無尽の徒（B）……戦闘が長引くほど筋力、耐久、敏捷に微弱な補正がかかっていく。

宝具

戦神五兵【ゴッドフォース】（A++）……対軍宝具。彼の武器である【無双龍天画戟】が、それひとつで『切る・突く・叩く・薙ぐ・払う』を行える五つの形態に変化する大量破壊兵器。
矛と砲（弓）の形態は確認済み。

人中の呂布・馬中の赤兎【レッドエンペラーズ】（A）対軍仕様の生きる城塞である自身の肉体が宝具。

非常に高い実力を持ち、距離が離れていけばエーテライトの炉心融解すら防ぎきる。

そして、相棒の赤兎馬召喚能力。赤兎馬は炎のような鬣を持つ馬であり。呂布を乗せて城の塹壕（少なくとも30?以上）を飛び越えることが出来たと言う。赤兎馬は彼以外には懐かなかった。

『太平要術【】』（B）……数年間の服従（呪い）のかわりに南華老仙に与えられた書物。妖術・仙術・魔術が扱えるようになる。また、あらゆる精神的攻撃を無効にし、常に精神の正常化をする。

武器

無双龍天画戟：彼が生前から多用していた武器。

宝具である。

参考資料？

Fate/EXTRAの呂布さん。
クラス バーサーカー

ステータス

筋力(A+) 耐久(A+) 敏捷(B+) 魔力(C+) 幸運
(C+)

スキル(全サーヴァント三つに固定)

バーサーカー化(A)

勇猛(B)

反骨の相(B)

宝具(一つに固定)【軍神五兵】【ゴッドフォース】(?)

解説……チートです。ヒロインの内の一人のサーヴァントですが終盤の敵らしく強いです。

ちなみに技には絶武無双【ほこ、まじえるにあたわず】、赤兔無尽【せきと、いまだしなず】、必中無弓【ゆみ、きそうかちなし】があります。

解説には、「あらゆる武器を操る古今無双の猛将」とあります。

それから、キャスター以外のクラスになれるのですが、なんと呂布

さん魔力（C+）なんです。

て言うか全てに『+（プラス）』がついてるのは何故？

ちなみに今作の呂布さんは、憑依者がIFルートな呂布さんのどっちの呂布さんにするか迷ってます。アドバイスをくださいm（――）

m

性格

自己中心な性格。気まぐれ。

優しい？が自分に不利益が無い場合のみ（例外はあり）。

雁夜さんの治療も聖杯戦争におけるマスターとの信頼関係を作るため。手強い敵より使えぬ味方が恐ろしいのは自明の理なため。

ただ余りにも不憫な雁夜と桜を多少の不利益なら助けてやろうと感じる。

通り名（例：征服王）

天帝……世界を統一したことから

猛火の英雄……イメージカラーの紅と炎のような鬚赤兎馬、それに侵略者である彼に相応しい『侵略すること火のごとし』が合わさりつけられた？

武器

『無双龍天画戟』……メイドイン陳宮。方天戟の最終形態。オーパ
ーツ。素材は陳宮が拾った不思議な材料。呂布は『聖槍』と『赤兎
の鬚』以外の材料を知らない。

長柄武器（戟）の一種。それひとつで「切る・突く・叩く・薙ぐ・払う」ができる。

見た目は三國無双猛将伝の六を頑張って出して下さい。それか妄想でも可。

鎧……特に決まった名称は無い。安心のメイドイン陳宮。機能性を追求しながらも装飾も手を抜いていない至高の逸品。オーパーツ。

雨が降ろうが反り血を浴びようが劣化しない不思議な防具。刃や弓矢が通り難い構造がしているらしい。素材は陳宮の拾い物。呂布は何一つ素材を知らない。というよりも怖くて聞けない。

兜……戦闘時につける二本の赤い触覚？衝撃のメイドイン陳宮。何かに反応して動く時が……

呂布曰く気配に敏感になるらしい。

間桐 雁夜

誕生日 3月22日

身長 173? 体重 55?

イメージカラー 青緑

特技 文書作成

必殺技は牛骨すら噛み砕く肉食虫『翅刃虫』の大量使役。弱点は炎。

性格

感覚的に一般人で、魔術師の非情・矜持を受け入れられない。極々平凡な幸福を貴いものとし、尊んでいる。

誰がための設定集（後書き）

呂布は強い子です。

TS化は、ギルさん狙いです。ヒロインにしたい。

作者的ヒロインには、女アサシン、女ギルさん、女ランスロット、桜ちゃん。

一番下は、犯罪臭がひどい。

ハーレムは聖杯戦争のシステム的に無理かな？アドバイス待つてます。

そくだ。アドバイス感想ありがとうございます。

至らない作者ですから、皆さんと共に作品を極力は作りたいです（雁夜さん助け隊として）

（・・・）y - 最終的には、雁夜さんの葵さん寝とりルートも考慮すべきか……

紅き戦神の想い（前書き）

これからは呂布さん視点が中心になります。

お願い：宝具アイデア募集中です> (´・`・´)

作者です。漫画二巻と小説二巻買いました。これで、もう迷わず描けるかも。

受験生なんで不定期更新赦して下さい。あくまで学業が本分で、これは一種の逃避行動ですから。

ヒロインはこいつがいいなあ、とかこんな展開どう、とか採用するかしないかは別として待ってます。

呂布の宝具も。

紅き戦神の想い

英雄、呂布の人生は決して約束された栄光の道ではなかった。

若い時に神の一柱である南華老仙に与えられた『太平要術』と引き換えの呪いにより、養父丁原を殺し、その後も次の養父董卓を殺害してしまう。

その後ようやく呪いから解放され、自身の願いを背に仲間共に進みだした。

【誰にも負けない】それは南華老仙の企みに負けた男の誓いだった。

劉備を滅ぼし、孫権を下し、曹操を取り込み、中華大陸を制覇した。

それは、陳宮や張遼、高順等といった友であり部下である彼らの力はもちろん。

我等と共に戦った兵士や自国の繁栄を手伝ってくれる民たちのおかげであった。

そして呂布は他国に進行を初めた。同じ肌の色をしたものは勿論、白や黒といった人達の国をも侵略して、支配していった。

終に呂布約六十歳にて、天下を統一。

その後、世界の表舞台からいなくなり【天帝】と諡おくりなされる。

「されど汝はその眼を混沌に曇らせ侍るべし。汝、狂乱の檻に囚われし者。我はその鎖を手繰る者」

ほう。理性を奪おうとするか

「汝三大の言霊を纏う七天、抑止の輪より来たれ、天秤の守り手よ」

甘いな

吾は狂う事なき戦神故に

『答える、お前が吾のマスターか？』

光と静寂に満たされた部屋に現界する自身の最盛期の肉体。

吾の前に控えるは、醜悪な体をしている白髪の男。

多分マスターだろう。

「それで……だ。この間桐 雁夜がマスターだ」

少し威圧を加えた吾が言葉に少し危ういながらも毅然と答えるマスター。いや雁夜。

初見の印象を上方に修正するか。

「ほう……吾の言葉に対してなお抗えるか」

「良かろう。お前を吾のマスターに認めようではないか」

そう、頑張つて貰わなくてはな。吾が望みを叶えるために。そう思案していると、雁夜が突然何かに気づいた顔をし口を開いた。

「お、お前は、バーサーカーではないのか？」

成る程。誰が見ても吾を理性無き獣バーサーカーとは思つまいか。

「違うな。吾は此度の聖杯戦争において侵略者のクラスインベイダーで現界した」

侵略者。此度の聖杯戦争において、吾に与えられたサーヴァントのクラス。

他を侵略し続け世界を統べた吾に最も相応しいクラス。

「なに、此の身は7つ全てに当てはまるが、最もふさわしいクラスが侵略者であつただけよ」

「いや、バーサーカーだけは違つかもしれぬな。吾は狂つなどといった事象は不可能だからな」

と、雁夜に説明してやる。信頼関係を築くには必要だからな。ふと思ひ出して口を開く。

「そう言えばだ、マスター。吾の真名を未だ授けていなかったな。よからうマスター、我が真名を授けよう」

威圧を振るい宣言する。吾が真名を。

『吾は呂布。世界を統べし中華帝国の霸王なり』

「なっ!?!」

驚く雁夜を見てひどく心地が良くなる自分に内心苦笑する。

「っ、強い。強すぎる」

吾のステータスを見てか、雁夜が呻く。

マスターの魔力は未熟でステータスダウンしても可笑しくは無いが、それは『無双龍天画戟』に組み込まれている『聖槍』がカバーしている。

そして、その『聖槍』の力を使いしなくてはならないことが有る。

そして紅蓮の槍『無双龍天画戟』を雁夜に突き刺す。

「なっ!?!?...何...で...」

雁夜が呻くが仕方有るまい。これも聖杯戦争の勝利のためであり彼のためでもある。

心臓の辺りに突き刺された紅蓮の槍の辺りは、血が滲み、口からは異物が吐かれた。

異物。まあ血にまみれたキモい虫だが、これが原因か。

雁夜から発する醜悪な魔力に、そのボロボロな体は。

まあ、何故刺されたかわからない雁夜には、この自慢の槍の説明もつけて教えてやろう。

吾を呼び出したのがどんなに素晴らしいかを。

「ふむ。雁夜、これは『無双龍天画戟』といってな、陳宮がつくった『方天画戟』と、西洋に伝わる伝説の『聖槍』を併せた陳宮作の神槍よっ！」

そう不敵な笑顔を見せるも怪訝な顔をする雁夜。何故？

「どうして刺した？」

気づいているのに気づかぬ振りか……いや、あれは本当に分かってないな。

『神の御子』の血を浴び聖なる槍になった『聖槍』には治癒の力が有るのは有名だろうに……

「ハア……雁夜、お前ポロポロだっただろう。髪は真っ白に、片目は異形に、半身は麻痺、体内には虫を飼っている」

『太平要術』により妖術・仙術を会得している吾には分かるからな。

「嫌だぞ吾は、そんなのがマスターなんて。だから手っ取り早く治しただけよ」

感謝して精々サポートに徹しろよ。戦争をしらぬ者が戦場にでるなと殺して下さい、と言うようなものだからな。

「ありがとう」

雁夜が口にした言葉はとても懐かしい二人の養父の笑顔に被った。

いや、違つたる。そう雑念を振り払い毅然と答える。

「当たり前だ。吾と共に歩む者がみすぼらしくてはな」

だが、少しくらいは助けてやろう。この養父ちちに良く似た笑顔をする男を……

紅き戦神の想い（後書き）

呂布さんの謎が深まる。

二人の養父とは……

誰だ!?

次は桜ちゃん救済?と臓硯討伐?が始まる?

そして雁夜には、新たな魔術回路が……

間桐革命勃発！（前書き）

こんにちは。作者です（＾3＾）ノ

アンケートを実施したいです。

ヒロインは誰？

？、ギルガメッシュ（女）

？、ランスロット（女）

？、桜（光源氏作戦）

？、他

？、複数

「？と？は詳しくお願いします。一人三票までお願いします」
「（；）<

期限は未定ですがお早めに（＾-＾）ノ

間桐革命勃発！

「手始めにだ。雁夜、今お前の体内には刻印虫がいなくなった」

「ああ、異物が消えた感じだ」

そう言っただけ雁夜は、今までのそら恐ろしい顔から、何処にでもいそうな好青年の笑顔を浮かべた。

「しかしだ。刻印虫がいなくなった今お前は、吾への魔力供給が出来なくなった。相違無いな？」

「確かにそうだ。だが何故知っている？話した覚えは無いぞ。刻印虫の名前もその役割も」

「なに、それは吾が宝具を使ったまで」

そう言い、紅色のパッケージをした厚い本を現界させる。

「これは太平要術つといつてな。これを読むことによって、吾は世を太平にするためのあらゆる術をてにいれた」

自分でも説明するときの自分の表情が分かる。それは怒りだ。

自身の大切なものを奪っていった原因の忌まわしき書。

まあ、今は役に立つため使っしか有るまいが……

「その術に人の記憶を見る術が有る。その人物が信に値する人物か

どうかを見分けるためにな」

「それで知ったと……知った理由は分かった。だが魔力供給が出来ないのは確かだ。インベイダーには、単独行動が有るのは知っているが、それも一週間ぐらいだ。どうする？」

「これを使う」

そう言いながら太平要術を指す。

「これは、三冊ある。その一つを授かった張角という男は読むだけで、自身にあった太平にするための術を授かったんだが、当然吾が持っている太平要術にも同じシステムが入っている」

「故にだ。雁夜今すぐこの書を読め。この呂布が汝に閲覧を許可する！」

そう言った瞬間に、紅き魔術書が光り、雁夜の手元に移動する。

「雁夜。貴様の記憶は見た。（聖杯）戦争が始まる前にやらなくてはならないことが有るようだな」

「まさかっ！？助けてくれるのか……」

それが雁夜の記憶にいた虫蔵で犯され続けている薄紫の少女か、雁夜自身への救いかは分からなかった。

あるいは両方か……

それは雁夜という一個の人間の形の具現なのだから。

「して雁夜よ。何を得た？」

「力だよ。この血に忌々しくも流れる蟲の使役者足る力に、高い隠密性の力だ」

「笑えよ、インベイダー。此の身に宿りし力は、不遇の身を耐える少女を助ける力ではないことを！……得たのは血族の力と卑怯な俺に相応しい隠れる力だ……」

嘆いたきり、項垂れる雁夜を見る。まさにその姿は、贖罪を求めるユダのごときであった。

しかしだ……

「雁夜よ、面を上げる。確かにその力は彼女の痛みを癒す力は無いかも知れぬ。だが、忘れたか雁夜」

「吾達が次にすることを。それは、きつと彼女の痛みを終わらせられるだろうよ。だから前を向かんか、雁夜っ！」

そうだとも、吾マスターになったのならば、下を向くことなど赦されぬ。

唯ひたすらに前を行け。雁夜よ。

準備が整いと言っても、少しの休憩のみだけだが、地下室の扉を開き三人を探す。

最優先の救出目標である間桐桜。他二人を裁い（殺し）ても、彼女が死ねば意味がない。

最重要殺害目標の間桐臓硯。雁夜の中にいた刻印虫を殺したため、何かが起こっているかは知っている筈。

間桐鶴野。間桐桜を痛め付けた殺害目標。

とは、雁夜談であるが、それに承諾し、桜のいるであろう部屋に向かう。儀式前に彼女から、今日は教育（拷問）は無いと聞いたらしい。

部屋に到着して、扉を開くと、薄紫の髪をした触れると壊れそうな女の子が何をするわけではなく、視線を虚空へさ迷わせていた。

「雁夜叔父さんこの人は誰？」

そう雁夜に向けて話し掛ける彼女の目には光りが無く、見るだけで痛々しかった。

そして、嘗て見た暴君が治める国の希望を知らない人達を思い出し、怒りが灯る。

「彼はね叔父さんの知り合い何だ」

「呂布だ。よろしくな桜ちゃん」

「よろしく」

握手をする。そのときに彼女の体にある異物の消去と回復を行う。

それが終了すると同時に、握手を終わらす。

「何したの」

こてん、と首を横に傾ける動作は小動物（特にリス）を思わせる容姿も相まって、癒される。

この子は絶対に助けるか。戦に癒しは大切だ。

「お呪いだ。^{ましな}君の未来に幸有れ、とな」

握手の時にしたのは術の行使と聖槍の欠片の埋め込みだが、陰の気を漂わせる彼女には必要であった。

「雁夜。ここで桜を見ているよ」

そう言い、この屋敷にて感じる吾以外の魔力反応の内、最も強い場所に移動する。

雁夜の記憶から、臓硯という化け物は、自身の魂を蟲に分割してい

るらしい。

しかし、此方には倒す術がある。この『無双龍天画戟』と『太平要術』があればな。

「呵々々々ツ、サーヴァント風情が、儂に何のようじゃ?」

「何、化け物退治を頼まれただけよッ!」

無双龍天画戟を【叩く】に特化した大鎚モードに切り替え、臍硯の脳天に振るう。

轟音に軋む大地。

だが、潰された人だったものの後からは蟲が這い出てくる。

『呵々々々ツ、残念じゃったなサーヴァントよ。儂は死なッ!?』

死なない とは、何処からともなく聞こえる化け物は言いきれなかった。

消滅。這い出てきた蟲たちが一斉に苦しみ悶え消えていく。

これは、聖槍の【浄化】の特性に太平要術の術の一つの【連鎖】の術を使ったただけであり、この化け物以外には殆ど使い所の無い術だった。

しかし、何百年もの時を生きた化け物の最後は、やけにあっさりしたものだっただけ。

しかし化け物退治は完遂した。調べてみたが、間桐臓硯などと言う【魂】は、最早この世には無い。

ならば動くは次なる標的へ、臓硯は『自分は死なない』といったあらゆる盲信を抱き、油断し魔術を使わなかった。

だが、次なる標的である鶴野は非才なればサーヴァントという規格外が現れたら魔術を行使し、抗うに違いない。そう油断の欠片もなく。

……呆気なかった。鶴野と思わしき人物は、床に倒れ伏して寝ていた。……酒瓶を床に撒き散らして。

これで終わりか。いや楽なのは嬉しいが、釈然としなかった。

間桐革命勃発！（後書き）

何か釈然としない終わり方ですいません（・・・）

臓硯工、鶴野工。（早く終わらせたかったがために）彼らは犠牲となつたのだ。

作者てき雁夜さんの属性？は【隠密】です。名前からですが、夜空羽ばたく雁（というか鳥）は見つけにくいからです。

【隠密】は、気配遮断や逃走に強いです。

異議がある人は感想にお願いします。多分変わりませんが…

閑話・雁夜さんと桜ちゃん（前書き）

クルーシオっ。作者です。

アンケートはまだ続きます。

今回話すのは『太平要術』の裏設定？

あれは望みに適した術を、願望者の術の才能を昇華させますが、それ以外の術の才能は無くなる、という裏設定。

つまり雁夜さんなら【蟲使い】と【隠密】に必要な術以外の術の才能は無いです。

閑話・雁夜さんと桜ちゃん

side 雁夜

今しがた呂布が出ていった扉を見つめる少女桜。

何時も姉である遠坂 凜の背中に守られていた心優しい少女だった
遠坂 桜。

それが、自身が忌み嫌う間桐の家に送られ、教育と言う名の拷問を受け、髪の色は変わり、瞳に光彩は無くなり、何かが壊れている印象を受ける間桐 桜になってしまった。

助けよう、と思った。その気持ちに嘘は無い。

ただ、恐れていたんだ。化け物の間桐 臓硯を……

そのせいで、桜ちゃんがこんなにも酷くなっていたかもしれない。

だけど、あの時桜ちゃんが間桐に来たと知った時に、俺が直接桜ちゃんを連れ出して逃げずに臓硯取引を持ちかけたのは仕方無いことだった。

俺は臓硯には敵わないし、まして俺が桜ちゃんを助け出せずに死んだら、誰が桜ちゃんを助けるのか……

あの子を【子を産む胎盤】としか見てない間桐はもちろん。この残酷な行為を知る由も無い遠坂もだ。

仮に知ったとしても、あの時臣のことだ。魔術のためなら、と助け無いかもしれないしな。

だが、今俺は桜ちゃんを助けられる手前まできている。

嬉しい。今までの苦勞が全て報われ、祝福されているようだ。

この子を守る。そのための力は得た。だからまずは、この子を癒し、あの優しいサーヴァントの聖杯獲得に尽力しよう。

「雁夜おじさん？どうしたの？」

桜ちゃんが不思議そうに此方をみている。

「大丈夫だよ、桜ちゃん。そうだこれを飲んでね」

そう言い、呂布に渡された袋から輝く聖槍の欠片を渡す。

これは、邪なるものを滅ぼす【浄化】と肉体を復元（回復）させる【癒し】の力がある。

俺もここへ来る前に飲み、壊死した眼球には視力が戻り、麻痺した体も動かせるようになり、体の異常という異常は全て治った。

ただ白い髪を除いて……。インベイダー曰く、精神的なものまでは治らないらしい。

だが、これには後悔は無い。これは自身の報いの贖罪の証なのだから。

ゴクリ、桜ちゃんがその欠片を飲み込む。少しして、驚いたような感情が表れる。

この一年間で初めて見た絶望している少女の感情現れだった。

「おじいさまのムシがいなくなった」

茫然と呟く彼女のそれをきき、インベイダーが化け物を倒したか、それとも聖槍の欠片が治したかは分からないが、目的は達せられた。

「桜ちゃん。君は助かったんだ。あの男はもういないよ」

優しく微笑みかける。今まで言えなかった【救いの言葉】を投げ掛けた。

一瞬の静寂。それが終わった後には、涙を流しながらもいまだ暗い眼差しをしている少女がの言葉は確かに聞こえた。

「嬉しい……」

と。

今はまだ桜ちゃんの心は癒されていない。

それを時が解決してくれるのを強く望んだ。

閑話・雁夜さんと桜ちゃん（後書き）

短めです。投稿なしよりいいかなと走り書きです。

次に桜ちゃんサイドを載せるかも。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6305x/>

誰がための英雄譚

2011年10月22日02時14分発行